

3 月度理事会議事録（2022 年 3 月 8 日（火）開催）

1. 会長報告（2 月 8 日（火）～3 月 7 日（月）出席案件）

- ・2 月 8 日（火）日本人会・理事会（ビデオ会議システム）
- ・2 月 9 日（水）泰日協会 Board Meeting（InterContinental Bangkok Hotel）
- ・2 月 23 日（水）成人の日祝賀会（日本人会本館）
- ・3 月 2 日（水）日本人会絵画同好会作品展（パーソナルコンサルタントギャラリー）
- ・3 月 4 日（金）日本人会・企画推進部会及び三役会（日本人会本館）

2. 退任・新任オブザーバー挨拶

- ・松前了氏（在タイ日本国大使館）より退任の挨拶を頂いた。
- ・高橋徹氏（Nikkei Inc, Editorial Headquarters for ASIA）より退任の挨拶を頂いた。

- ・新保剛氏（在タイ日本国大使館）より後任としての挨拶を頂いた。

3. 一般報告

（1）2 月度個人会員動向

入会者 78 名 退会 128 名 現会員数 4,814 名（内、準会員 41 名 会友会員 210 名）
（前年同月 5,749 名・前年同月比 83%）

（2）2 月度賛助会員

〈入会 2 社〉

- ・Renuka & Company Co., Ltd.（旅行企画・翻訳・通訳）
- ・Otasuketai BKK Co.,Ltd.（通訳・翻訳・便利屋）

〈退会 2 社〉

- ・Nexus Special Paint & Chemical (Thailand) Ltd.
- ・Classmethod Inc.

現会員数 521 社（前年同月 562 社・前年同月比 92.7%）

（3）会員優待店

【新規加盟】

- ・てっぺん（サトーン店）
- ・瀬里奈/瀬里奈鍋
- ・一芯
- ・金星
- ・スタミナ苑
- ・現在の有効店数 51 店舗

（4）2 月度会館来訪者数

本館：373 名（実数 279 名）

別館：1,623 名（実数 490 名）

合計：1,996 名（実数 769 名）

（前年同月 2,533 名（実数 780 名）前年同月比 78.9%（98.6%））

【昨年度の開館状況】

・2021 年 4 月 26 日（月）～10 月 24 日（日）まで、会議室での同好会・サークル活動を禁止。7 月 12 日（火）より、事務局の時短運営（9 時～15 時・土曜日休館）。7 月 20 日（火）～8 月 31 日（火）は全ての会館サービスを休止。9 月 2 日（木）より本館・別館ともに窓口業務を一部再開、10 月 1 日

(金) より一般図書館を再開、10月25日(月) より会議室の貸出再開。

(5) 会館貸出サービス

- ・2～4月の法人利用を紹介した。

(6) 寄付・寄贈報告

- ・本の寄贈
青柳倫世様、西岡良樹様、川満富子様その他4名より、計243冊寄贈頂いた。

(7) 2月度会計報告

- ・2月度収入は、126万バーツ、(前年同月 57万バーツ 前年同月比219.8%)
- ・2月度支出は、278万バーツ、(前年同月 186万バーツ 前年同月比149.1%)
- ・単月収支は、-152万バーツ(前年同月 -129万バーツ 差額 -23万バーツ)
- ・累計収支は、-311万バーツ(前年同月 60万バーツ 差額 -371万バーツ)

(8) その他報告(事務局)

- ・3月の主な会議日程と各同好会・部会など主な行事日程を確認した。

4. 後援名義・ロゴ使用申請(事務局)

対象事業名：会員向けウェビナー『これからの時代に求められる子どもの力』

- ・開催日：2022年3月24日(木) 10:00-11:30 ZOOMにて開催
- ・主催：HOIKU株式会社・タイ国日本人会共催
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力
→異議なく承認された

5. 2022年度定期総会に関して(事務局)

- ・4月21日(木) 16時より臨時総会をサトーン本館にて、17時より定期総会をGlowfish Studio(日本人会サトーン本館上階)にて開催予定である。今年度も昨年同様オンラインでの開催を基本とするが、会場参加を希望の方には、定員を40名としたうえで対応することとした。尚、改選のとしてあるため、オンラインのみでの開催は認められていない。
- ・3月10日(木) 発送の「日本人会からのお知らせ」に委任状を同封している。オンラインでも委任状が提出できるようにしているので、各社の協力をお願いしたい。

6. 2021年度チャリティー基金運営委員会・審議案件(重松理事)

- ・2021年11月15日(月)～2022年1月14日(金)まで寄付先公募し告知をした結果、10団体から申請があった。2月8日(火) 第一回チャリティー基金運営委員会に続き、メール審議にて議論を重ね、寄付先を選定した。

・チャリティー基金運営委員会規定

第8項 運営委員会の任務(ハ) 基金支出の案件の審議と決定 (2014年10月改定)

- ・寄付申請金額が、10万バーツ未満の案件については、委員会にて審議し、支出決定した場合、理事会にて報告する。
- ・寄付申請金額が、10万バーツ以上の案件については、委員会にて審議し、支出決定した場合、理事会に提案し、理事会の承認を得るものとする。

〈理事会承認案件〉

- ・アークどこでも本読み隊(Bookworm Foundation)

108,048 バーツ（常勤職員1名・1年分の給与）
・虹の学校（Rainbow school Thailand）
120,000 バーツ（常勤職員1名・1年分の給与）
・Wat Arun Community Learning Center
120,000 バーツ（人身取引対象の奨学金生活支援・看護学校1年間）
・プラティープ財団（Duan Prateep Foundation）
100,000 バーツ（クロントイ・スラム地区への生活必需品配布事業、対象200名）
→4件共に理事会にて承認された。

〈理事会報告案件〉

・サンファーンサンティパープ財団（Dream Weaving For Peace Foundation）
51,000 バーツ（薬物使用によって崩壊した家庭出身の、山岳民族の子どもへの奨学金、対象15名）
・Grace & Marcy's Partners Foundation 内「ランナー剣道クラブ」
28,000 バーツ（孤児たちの剣道大会開催費）
・シーカーアジア財団（Sikha Asia Foundation）
93,288 バーツ（スラム及び農村児童の研修キャンプ活動・環境整備）
・プレー盲学校（Phrae Santi Jintana School for the Blind）
99,000 バーツ（視覚障がいのある児童・生徒への奨学金、対象33名）
・チャンタミット社（Beular Land Service Foundation）
9,000 バーツ（ハンセン病患者・家族のためのワークショップ活動費）
・ワットリアップ育英基金（日本人納骨堂のあるワットリアップ奨学金基金）
50,000 バーツ

7. 2021年度予算審議員会結果報告と予算審議（事務局）

【2022年度予算方針】

・11月の理事会で発表している2022年度の予算方針としては、会員数は現状の4800名ベースとし、200万Bの赤字幅容認することとした。そのため、2021年度基本予算から全体的にマイナス15%を目標とした予算建てを依頼していた。

【2021年度実績見込】

・2021年度実績見込みは、収入2,054万バーツ（予算比75.4% 前年実績比87.2%）、支出2,366万バーツ（予算比78.8% 前年実績比102.5%）収支差はマイナス311万バーツ、特別行事の収支差を含めるとマイナス273万バーツを見込んでいる。

・2021年11月の理事会で発表した収支見込は、マイナス280万バーツ（当初予算：マイナス240万）であったが、2022年2月末時点でも同程度を見込んでおり、次年度への繰越金は3,466万バーツとなる見込みである。

【2022年度予算・予算審議会案】

・2022年度予算案は、収入2,405万バーツ（前年予算比88.3% 前年実績見込比117.1%）支出は2,758万バーツ（前年予算比91.9% 前年実績見込比116.6%）、単年収支はマイナス353万バーツとなり、次年度への繰越金は3,114万バーツとなる。

・収入予算では、個人会費収入は2021年度平均程度の4,800名をベースにしており、賛助会員数（企業会員）についても現状維持の521社とした。増収策としては、下期の広告収入回復、英検の年3回実施、企画推進部イベントの有料化、駐車場収入、法人会館利用の強化を見込んで計上している。

・支出予算については、人件費の抑制や各部補助金抑制で費用を圧縮する一方、入会のオンライン化を含むホームページ改革の予算70万バーツを計上している。

→本予算案は、異議なく承認された。

また、予算審議委員会においては、以下の意見が上った。

- ・会館統合・会費値上げの問題についてはタスクフォースを立ち上げて検討の必要がある。
- ・会員向けのアンケートを実施し、日本人会に期待することを調査してはどうか。
- ・賛助会費については、口数での納入、個人会員を一定数含んだ会費設定など、検討の余地があるのではないか。

理事会においては、以下の意見が上った、

(島田会長) 会館統合については検討を進めるべきだが、別館に集約するという考え方では収支上の解決にはならない。

(石井理事) 利用者実数の会費では別館の家賃を賄いきれていない現状から、本館の売却ではなく、別館賃料の支出を減らすという考え方で進めるべきである。

8. 各部・各委員会報告及び提案等（発表順）

(1) 厚生部（桐生理事）

- ・2月23日（水）サトーン本館にて成人の日祝賀会を開催し、新成人2名に参加頂いた。コロナ禍の中の開催のため式典と記念品贈呈のみとし、会食は実施しなかった。「106 HAIR STUDIO」より女性の新成人へ、ヘアメイク・着付け・ネイルなど技術協賛を頂いた。
- ・メイドさん相談サービスについては、6月まで休止することとなった。

(2) 教育部（田中理事）

- ・2月20日（日）に日本人会本館およびGlowfishにて、第3回英検二次試験を実施した。
- ・濃厚接触などの理由でやむなく英検二次試験を欠席した18名に対しては、英検協会・コミュニティ英会話との協議の結果、次回（2022年度第1回）の検定料を無料とすることとし、2022年度第1回英検まで受験資格を延長することとした。

(3) 広報部（富永理事）

- ・無料情報誌については、ダコ、ニコラボ、ワム、パノーラ、の4誌に掲載する広告を紹介した。ニコラボはウェブ広告のみとなっている。
- ・2月のホームページアクセス状況は、訪問数8,868、閲覧数21,535で、LINE配信した日の閲覧数が高くなった。前年同月比は、訪問数110.3%、閲覧数105.5%。前月比は、訪問数54.5%、閲覧数61.7%であった。タイからの訪問数は70.9%、日本からは23.3%。前月と比較し、タイからは6.1%減少、日本からは4.4%増加している。日本からの閲覧は、東京、神奈川、大阪、愛知の順に訪問があった。
- ・LINEは9回の配信、登録者は前月より43名増加し、6,080名（有効者数3,979名）
- ・Facebookは50回の投稿、登録者は前月より17名増加し2,945名。成人の日祝賀会の開催報告がリーチ数最多となった。有料広告については、HRI共催オンラインセミナーのお知らせを2月17～21日の4日間、オンライン英検講座のお知らせを2月24～28日の4日間掲載した。
- ・インスタグラムは21回の投稿、登録者は前月より8名増加し、1,267名。Facebook同様に成人の日祝賀会の開催報告がリーチ数最多となった。
- ・Twitterは10回投稿し、フォロワーは前月より7名増加の963名となっている。2月21日に大使館より配信された新型コロナワクチン・ブースター接種のお知らせに関する記事が多くインプレッションを獲得した。

(4) 企画推進部 (富永理事)

- ・2月24日(木)、HRI(Thailand)Co.,Ltd.との共催で、個人会員・賛助会員企業を対象とした「職場でも家庭でも使える『目標実現のための戦略的思考』」をオンラインで開催し、短絡的思考から戦略的思考になるためのポイントや、戦略シナリオの作り方についてお話しいただいた。講師は同社の江草嘉和氏。申込者数28名に対し、当日参加は26名、事後アンケートでは8割の人が満足したと回答した。
- ・2月3, 10, 17, 24日の4回、オンラインにてタイ語基礎講座を開講した。講座委託はWestell Language School。アンケートの回答では「習った次の日から使えるような内容になっていて非常に役立った」など、とても満足度の高い結果となった。
- ・3月9日(水)、幼稚園合同説明会をオンラインで開催する。メロディー幼稚園とこぼと幼稚園が参加する。
- ・3月18日(金)、インター校合同説明会をオンラインで開催する。International School BangkokとTraill International Schoolが参加する。
- ・3月15~23日、全6回のオンライン英検基礎講座を開講する。講座委託はGEOS Language Centre Thailand。日本人会の会員に限定し、1講座250パーツとする。
- ・3月24日(木)、HOIKU株式会社との共催ウェビナー「これからの時代に求められる子どもの力」を開催する。講師は、同社顧問の藤森平司氏。ご自身が考案なさった『見守る保育』についてお話しいただく。

(5) 食堂運営委員会 (石井理事)

- ・食堂売上2月は、626,440B(前年対比79.2%)で-あった。タイ人顧客は1,886名、邦人顧客は370名、総顧客数2,256名、会員利用者延べ人数は124名、実数60名であった。

(6) 事業部 (事務局)

- ・2月12日(土)にカンチャナブリ慰霊塔法要を開催した。一般募集はせず、堂守と日高事業副部長、会員有志、事務局にて対応し、以下のご提供をいただいた。
 - ご供花提供：在タイ日本国大使館、盤谷日本人商工会議所
 - ご供物提供：内堀堂守・日高龍雄様・吉田幸江様・濱田文子様
 - ご香料：日高泰雄様・山川喜美代様
- ・3月21日(月)に日本人納骨堂春季法要を開催する。感染予防のため、法要終了後の座談会は中止とする。3月19日(土)に有志の方でお掃除をしていただく予定である。
- ・内堀堂守より、納骨堂本尊釈迦如来像の破損が気になるという報告があり、大使館広報文化部の打田様から東京文化財研究所の早川様・鳥海様を、東京文化財研究所から東京藝術大学大学院・文化財保存学保存修復彫刻科の岡田靖先生をご紹介いただいた。3月17日(木)にZOOMにて、破損状況を確認いただく予定である。先月の理事会で専門家による状況把握・見積もりに30~50万円、修復に500~1,000万円かかる見込みとの報告をしたが、専門家による現状の把握に関する費用については、神原納骨堂カンチャナブリ基金運営委員長の下、石井理事・日高泰雄理事と委員会を開催し協議した結果、納骨堂カンチャナブリ基金から出金することとした。その後の修復費用については、専門家の意見も踏まえ、基金運営委員会で検討していきたい。
- ・内堀堂守の2月の活動を報告。
 - ワットリアップの活動に8回参加、納骨堂堂守としての供養・法要を3回実施頂いた。2月8日(火)日高家にて写仏会を開催した。

(7) 文化部 (事務局)

- ・2月に開催された同好会主催の対外活動を紹介した。
 - 2月20日(日) 短歌同好会/カオヤイワイナリー公開吟行会

2月18日(金) タイを知る会/見て歩き タラートノイ&ヤワラート

2月23日(水)～3月2日(水) 絵画同好会/作品展@パーソナルコンサルタントギャラリー

・3月に開催予定の同好会主催の対外活動を紹介した。

3月6日(日) 将棋同好会/春季将棋大会@本館

(8) クラブ部(事務局)

・別館ロビーのエアコン入替について、土田会館・クラブ基金運営委員長のもと、2月25日(金)の予算審議会の席で開館クラブ基金運営委員会を開催し、3社の相見積もり結果を比較検討した。金額・施工について総合的に判断し、最安値となるローカル企業に依頼することとなった。

(9) 青少年部(事務局)

・2月16日(水・祝日)に、ブラスバンドサークルがYAMAHAホールにてコンサートを開催した。

・3月6日(日)別館にて、演劇サークル公演『てんきんかんとキツネのおはなし』を開催する。

・3月19日(土)、別館にて、裏千家バンコク協会の協力の下、茶道体験イベント「親子で学ぼう!日本の伝統文化『茶道』第2弾を開催する。

(10) 事務局報告

・2021年度に開催したチャリティー古本販売会の売上報告を行った。

9. 2月度理事会議事録承認

→異議なく承認された

10. 理事会出席者(敬称略、順不同)

・島田会長、荻原、日時本、田中、福田、加藤(三井物産)、各副会長、小田原、米増、桐生、竹井、重松、富永、石井、金子各理事、朽木、大竹各監事、松前大使館代表、高橋報道代表、森田JICA(国際協力機構)所長、栗山国際交流基金代表、事務局(村上・安達・松田)